



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL http://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 畠中 達郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,965	△14.7	762	△40.5	699	△44.3	356	△40.9
29年3月期第1四半期	11,688	△20.1	1,280	△52.5	1,255	△54.4	603	△66.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 361百万円 (△23.7%) 29年3月期第1四半期 473百万円 (△74.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	20.65	—
29年3月期第1四半期	34.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	33,918	25,139	69.8
29年3月期	38,206	25,102	61.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 23,661百万円 29年3月期 23,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,400	△18.7	1,300	△45.6	1,320	△40.2	700	△42.2	40.56
通期	45,000	△11.2	4,400	△17.9	4,570	△12.7	2,900	43.3	168.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	18,623,520株	29年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,364,225株	29年3月期	1,363,630株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	17,259,563株	29年3月期1Q	17,260,567株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（30年3月期1Q300,000株、29年3月期300,000株）が含まれております。また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（30年3月期1Q300,000株、29年3月期1Q0株）。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料の発表日現在において、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当第1四半期連結累計期間の経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	増減	増減率 (%)
営業収入	11,688	9,965	△1,722	△14.7
営業利益	1,280	762	△518	△40.5
経常利益	1,255	699	△555	△44.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	603	356	△246	△40.9

〔経済状況〕

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種経済政策などにより、企業収益や雇用、所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調が継続いたしました。海外経済の不確実性や地政学的リスクの高まりなど依然先行き不透明な状況となっております。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入99億6千5百万円（前年同四半期比14.7%減）、営業利益7億6千2百万円（前年同四半期比40.5%減）、経常利益6億9千9百万円（前年同四半期比44.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億5千6百万円（前年同四半期比40.9%減）となり、前年同四半期に比べ、大型コンサートツアーの減少や、音楽パッケージ販売の減少により減収減益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が減少
- ・ 商品売上収入（音楽パッケージ）が減少
- ・ 印税収入（新譜）が減少

上記要因などにより減収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

減収要因により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	9,966	8,351	△1,615	△16.2
メディアビジュアル事業	291	434	142	49.0
コンテンツ事業	901	645	△256	△28.4
プレイスマネジメント事業	527	534	6	1.2
合計	11,688	9,965	△1,722	△14.7

(セグメント利益又は損失(△))

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネージメント事業	1,498	963	△534	△35.7
メディアビジュアル事業	△1	△15	△14	—
コンテンツ事業	384	185	△199	△51.9
プレイスマネージメント事業	△308	△28	279	—
調整額	△293	△342	△48	—
合計	1,280	762	△518	△40.5

[アーティストマネージメント事業]

営業収入83億5千1百万円(前年同四半期比16.2%減)、セグメント利益9億6千3百万円(前年同四半期比35.7%減)となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ イベント収入: <コンサート>
ONE OK ROCK、星野源のコンサートツアー、Perfume Fes、
Amuse Fes in MAKUHARI 2017
<舞台・公演>
熱海五郎一座「消えた目撃者と悩ましい遺産」
- ・ 商品売上収入: コンサートグッズ、音楽作品
- ・ 印税収入(新譜): Perfume(シングルCD)、SEKAI NO OWARI(ライブDVD)
- ・ 出演収入・CM収入: 桑田佳祐、福山雅治、大泉洋、DEAN FUJIOKA、佐藤健など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサート公演数など)が減少
(前年同四半期はSEKAI NO OWARI、Perfumeのコンサートツアーなど)
 - ・ 商品売上収入(音楽パッケージ)が減少
(前年同四半期はコンサートグッズ、BABYMETALアルバムCD、ONE OK ROCKライブDVDなど)
 - ・ 印税収入(新譜)が減少
(前年同四半期はサザンオールスターズライブDVD、PerfumeライブDVDなど)
- 上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入4億3千4百万円(前年同四半期比49.0%増)、セグメント損失1千5百万円(前年同四半期は1百万円のセグメント損失)となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入: 「深夜食堂 第4部」、映画「続・深夜食堂」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入: 福山雅治主演映画「SCOOP!」劇場配給分配収入、DVD販売分配収入
神木隆之介が主演声優を務めたアニメーション映画「君の名は。」劇場配給分配収入
- ・ 番組制作収入: 星野源主演ドラマ「ブラージュ」の番組制作収入

<営業収入>

- ・ 番組制作収入の増加
(当期は星野源主演ドラマ「ブラージュ」の番組制作収入)
- 上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

映像製作収入において、原価率の高いDVD販売分配収入が主要な収入源となったことなどにより減益となりました。

〔コンテンツ事業〕

営業収入6億4千5百万円（前年同四半期比28.4%減）、セグメント利益1億8千5百万円（前年同四半期比51.9%減）となり、減収減益となりました。

〔主な事業〕

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCKなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

著作権印税の減少などにより減収となりました。

<セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

〔プレイスマネージメント事業〕

営業収入5億3千4百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント損失2千8百万円（前年同四半期は3億8百万円のセグメント損失）となりました。

〔主な事業〕

- ・ 東京ワンピースタワー、アミューズミュージアムの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ ベルギービール等の飲食店収入

<営業収入>

東京ワンピースタワーのフォト・グリーティング等のパーク内イベント収入が好調であったことなどにより若干の増収となりました。

<セグメント利益>

前期に計上した減損損失により減価償却費の負担が少なくなり、赤字幅縮小となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	増減
総資産 (百万円)	38,206	33,918	△4,287
純資産 (百万円)	25,102	25,139	37
自己資本比率 (%)	61.7	69.8	8.1
1株当たり純資産 (円)	1,366.09	1,370.92	4.83

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は339億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億8千7百万円減少いたしました。主な減少要因は、流動資産「現金及び預金」及び流動資産「受取手形及び営業未収入金」の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は87億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億2千4百万円減少いたしました。主な減少要因は、流動負債「営業未払金」及び流動負債「未払法人税等」の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は251億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千7百万円増加いたしました。主な増加要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は69.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績は概ね予定通り推移しており、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,100,934	18,959,508
受取手形及び営業未収入金	4,641,009	3,286,747
商品及び製品	1,778,657	1,748,417
仕掛品	1,141,901	1,152,460
原材料及び貯蔵品	95,357	108,355
その他	1,952,394	1,772,487
貸倒引当金	△145,568	△141,979
流動資産合計	31,564,685	26,885,996
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,010,082	993,742
土地	1,528,824	1,520,499
その他(純額)	251,941	241,807
有形固定資産合計	2,790,848	2,756,049
無形固定資産		
のれん	544,223	513,483
その他	231,880	216,059
無形固定資産合計	776,104	729,543
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548,910	2,028,728
その他	1,729,737	1,718,832
貸倒引当金	△204,159	△200,665
投資その他の資産合計	3,074,488	3,546,895
固定資産合計	6,641,441	7,032,488
資産合計	38,206,127	33,918,484

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	8,372,959	5,727,661
未払法人税等	1,480,542	172,804
役員賞与引当金	29,000	—
返品調整引当金	5,000	2,000
ポイント引当金	18,461	22,324
その他	2,135,308	1,759,741
流動負債合計	12,041,271	7,684,532
固定負債		
退職給付に係る負債	976,564	973,870
役員株式給付引当金	—	43,514
その他	85,584	76,794
固定負債合計	1,062,149	1,094,179
負債合計	13,103,420	8,778,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	2,109,793	2,109,793
利益剰余金	21,179,696	21,316,563
自己株式	△1,321,284	△1,323,007
株主資本合計	23,556,031	23,691,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,262	35,414
為替換算調整勘定	△22,696	△65,406
その他の包括利益累計額合計	22,565	△29,992
非支配株主持分	1,524,110	1,478,590
純資産合計	25,102,706	25,139,772
負債純資産合計	38,206,127	33,918,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業収入	11,688,289	9,965,741
営業原価	9,038,796	7,747,230
営業総利益	2,649,492	2,218,510
返品調整引当金戻入額	3,600	3,000
差引営業総利益	2,653,092	2,221,510
販売費及び一般管理費	1,372,455	1,459,384
営業利益	1,280,637	762,125
営業外収益		
受取利息	866	560
受取配当金	5,244	11,852
為替差益	—	5,528
受取手数料	2,999	3,066
事業組合投資利益	4,092	—
その他	14,237	10,298
営業外収益合計	27,440	31,305
営業外費用		
為替差損	34,558	—
持分法による投資損失	15,954	90,959
その他	2,209	3,035
営業外費用合計	52,722	93,995
経常利益	1,255,354	699,435
税金等調整前四半期純利益	1,255,354	699,435
法人税、住民税及び事業税	381,540	184,570
法人税等調整額	186,669	101,752
法人税等合計	568,209	286,322
四半期純利益	687,145	413,112
非支配株主に帰属する四半期純利益	83,831	56,746
親会社株主に帰属する四半期純利益	603,313	356,366

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	687,145	413,112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△309	△9,867
為替換算調整勘定	△213,258	△41,822
持分法適用会社に対する持分相当額	—	20
その他の包括利益合計	△213,568	△51,670
四半期包括利益	473,577	361,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	398,629	303,808
非支配株主に係る四半期包括利益	74,947	57,633

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	9,966,638	291,717	901,947	527,986	11,688,289	—	11,688,289
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	34,686	114,737	80,820	12,725	242,970	△242,970	—
計	10,001,324	406,455	982,768	540,711	11,931,259	△242,970	11,688,289
セグメント利益 又は損失(△)	1,498,468	△1,082	384,996	△308,378	1,574,004	△293,367	1,280,637

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△293,367千円には、セグメント間取引消去△1,023千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△292,343千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アーティストマネージメント事業」において、㈱FRIENDS、㈱COMITAS、㈱arounds及び㈱TRANSPLUSの4社の株式を取得したことよりのれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は、432,647千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	8,351,212	434,704	645,434	534,389	9,965,741	—	9,965,741
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	25,180	29,335	45,056	15,526	115,098	△115,098	—
計	8,376,392	464,039	690,491	549,915	10,080,839	△115,098	9,965,741
セグメント利益 又は損失(△)	963,666	△15,707	185,128	△28,826	1,104,261	△342,135	762,125

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△342,135千円には、セグメント間取引消去2,638千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△344,774千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。